

第2回 引佐南部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年9月27日(水) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 引佐南部中学校 2F会議室
- 3 出席委員 内山 哲哉、山村 行弘、安戸 哲弘、河村 壽子、石野 由美子、眞鍋 和親、永田 琢也、鈴木 千香子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 阪井 小百合（校長）、北野 昌宏（教頭）、十河 直美（CS担当教員）、山下 庄一（発達支援コーディネーター）、竹田 直弘（3年主任）、前田 直紀（2年主任）、秋田 大和（1年主任）、荒谷 朋子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 会議録作成者 CSディレクター 荒谷 朋子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、安戸委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学年主任挨拶、生徒の様子等の紹介
- (2) キャリア体験について
- (3) その他
 - ① 今後の部活動、地域クラブ等について
 - ② 制服・校内服等について

11 会議記録

司会の北野教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、会議に先立ち、前回会議録の確認をお願いした。

(1) 学年主任挨拶、生徒の様子等の紹介

1年秋田主任、2年前田主任、3年竹田主任、発達支援コーディネーター山下より生徒の様子等の紹介を行った。

- ・ 学年主任の先生も含め、若い先生が多い印象。学年主任は持ち上がるのか？（安戸委員）
→教科の関係や、異動の関係で動くこともあるが、基本的には持ち上がる。（校長）
- ・ いじめなどはどのように把握されているか。表立っては見えなし、アンケートにも出てこないようないじめが裏でおこっている、など感じることはあるか？（山村委員）
→SNSなどのトラブルもある。相談しやすい関係を作る努力をしている。保護者からや、周囲からの報告もきている。SNSでのトラブルを防ぐために、子供たちへ周知したり、研修を行ったりしている。（教頭）
- ・ トラブルを通して子供同士が成長することもある。（安戸委員）
- ・ いじめを第三者が報告しやすいような目安箱のようなものはあるか？（河村委員）
→いじめに特化したような目安箱はないが、市が設置しているホットラインは子供たちにも周知している。（教頭）
- ・ 発達支援学級（特に知的）の人数が増えている。何人まで1クラスなのか。（安戸委員）
→1学級8人まで。将来的には組み合わせも考えると5クラスになる可能性がある。（校長）

- ・ ほかの地域と比べて生徒の良いところや頑張るべきところなどあるか？（永田委員）
→保護者と子供の距離が近く、一緒にいる時間が長い。進路選択の幅が距離の問題もあって狭い。学校への距離で決める子もいる。（竹田）
- ・ 見た目にはわからない子で支援が必要な場合がある。小学生だとじっとしてられない子が多い。（石野委員）
- ・ 野球部の試合を見に行った際に、自分たちで考えて動くことができている素晴らしかった。（河村委員）
- ・ 親も含めて、自分で考える前に、誰かと一緒じゃないと不安という子が多い。（鈴木委員）
- ・ 学力調査の結果について説明してほしい。（内山委員）
→十河より学力調査の結果報告を行った。
- ・ 学習習慣が相変わらず身につけていない。（内山委員）

（２） キャリア体験について

今年度の職場体験の受け入れ状況等について、前田主任と永田コーディネーターから説明を行った。

- ・ 受け入れ先としては、FAXでの返答ができる様式などがあれば、電話ではなく、全部書き込んで気を付けてほしい部分を連絡できる。目的意識をしっかり持ってきてほしい。（鈴木委員）
- ・ 地域に、学校運営協議会の役割を周知徹底する必要がある。（安戸委員）
- ・ 運営協議会として手伝える流れを作ったほうがいい。（河村委員）
- ・ 実施手引きや要綱などはあるか？（眞鍋委員）
→依頼文がある。（前田）
- ・ 社会とのかかわりを子供たちに持ってもらって、子供たちにもっと地域に目を向けてもらいたい。（永田委員）
- ・ 家族以外の大人と触れ合うことで、仕事や社会の面白さや厳しさを知ることができる。（内山委員）
- ・ 来年度初回までに運営協議会として手伝える内容を話し合い、協力していきましょう。（内山委員・安戸委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（３） その他

校長より、『今後の部活動、地域クラブ等について』及び『制服・校内服等の見直しについて』の説明を行った。

◎今後の部活動、地域クラブ等について

- ・ 外部コーチはどの程度入っているのか。（内山委員）
→テニス部、卓球部に入っている。テニス部は普段の練習から、卓球部は試合の際に来てくれている。部活動指導員は野球部と吹奏楽部にいる。指導員は会計年度職員、外部コーチはボランティア。地域クラブはバレー、野球、卓球があり、保護者が登録をしている。（校長・教頭）
- ・ 外部指導者と先生とのコミュニケーションをとるのが難しそう。事故の際などに、外部指導者のリスクが大きそう。外部指導者を会社として登録したりしないと難しいのでは。（永田委員）
- ・ 働き方改革でみれば、地域クラブにすべきだが、人材がいない。（安戸委員）
- ・ 保護者などが、部活に対する学校への期待度が高すぎるのでは。（山村委員）
- ・ 保護者は地域クラブをつくとそこに殺到しがちになるため、試合に出られない子も多くなる。（眞鍋委員）

◎制服・校内服等の見直しについて

- ・ ジェンダーの話題からなのか、貧困の話題からなのか。(内山委員)
→両面あると思うが、掛川市がすでに全校統一している。(校長)
- ・ 登下校時は制服なのか。(河村委員)
→暑い時期、寒い時期は体操服でも可としている。(十河)

12 その他連絡事項

(1) 次回開催日時

第3回 令和5年12月13日(水) 13:30~

第4回 令和6年2月20日(火) 13:30~

(2) 次回議長選出

次回の議長は前回決定通り、山村委員に決定。

(3) 次回熟議内容について

授業参観、学校評価アンケートの結果について